

自動視準・自動追尾モータドライブTS

GPT-9000A



国土交通省TS出来形管理に対応（道路河川土工編）
3D設計データ入力からデータ管理までの情報化施工

作業効率化Point1 測設作業(杭打ち)

路線計算(中心杭・幅杭)を搭載していますので見通しの良い所に機械を設置し**路線内全ての杭打ち作業が可能です!**

更にGPT-9000Aは自動旋回機能を搭載していますので、**自分で測設方向に角度を合わせる作業が不要になります!**



GPT-9000A自動旋回機能とは・・・

アプリケーション内部で計算した水平角を自動で測設方向に旋回します。この機能を使用する事により観測者は測点を選択し、プリズム側の作業員へ前後・左右の指示をおこなうのみですので作業効率が格段に向上します。



土木基本では路線計算機能を搭載していますので、中心杭・幅杭・プラス杭を選択するのみで路線内どこでも杭設置が可能です!



作業効率化 Point2: 新点観測

GPT-9000A 自動視準機能とは・・・

プリズムを概略視準し測定を選択すればプリズムを自動で視準し、測距・記録を1ボタンでおこなえるモードです。この機能を使用する事により通常の観測の1/2程度で観測が可能です。



一連の操作が
ボタンひとつの
簡単操作



概略視準

測定ボタンを選択

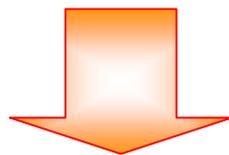
自動視準

測距・記録データ取り込み

作業効率化 Point3: TS出来形・横断観測

GPT-9000A(土木基本)は3次元路線計算まで対応しています！縦断勾配・設計断面を入力すればレベル不要の3次元観測が可能になります！

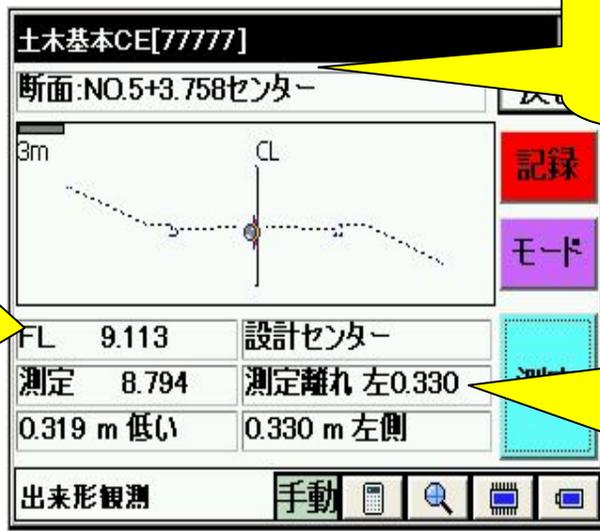
BMにプリズムを設置し測距すれば
TSの器械高が自動的に計算されます！



レベル不要で高さ管理可能！



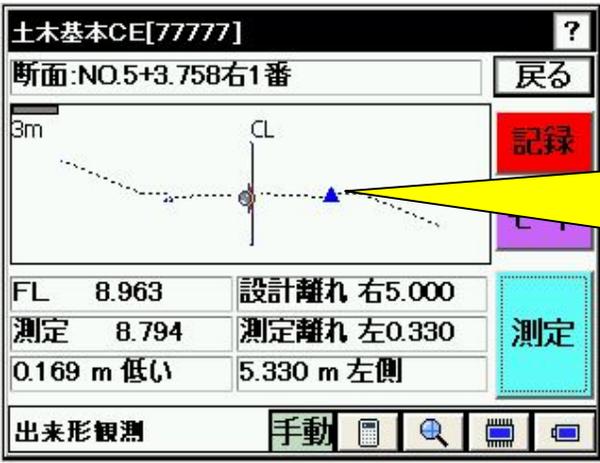
作業効率化Point3:TS出来形・横断観測



路線のどの位置を測定したか、標準断面の何番目を基準に測定しているかを表示

FL = 設計標高
測定 = 現在測定標高
上下較差表示

設計 = 設計上の中心からの離れ
測定 = 現在測定離れ
左右較差表示



左右キーで確認する変化点の指定が可能です。
が左右に移動します。